|  |  |
| --- | --- |
| 受付 | 月　日 |
| No. |

**第３1回（令和５年度）「日本農業研究所賞」受賞候補者推薦書**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日

１．受賞候補者

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　名 | （ふりがな）　　　　　　　　　（年齢　　歳）（生年月日　昭和　　年　　月　　日生） |
| 住　所 | 〒（電話番号　　　－　　　－　　　） |

２．推薦者

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名あるいは代表者名 | 関係機関役職名 |
| （ふりがな）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |  |
| 住　　所 |
| 〒（電話番号　　　－　　　－　　　） |

３．受賞候補者の略歴及び主な業績等

|  |  |
| --- | --- |
| 研究者としての主な略歴及び現職 |  |
| 過去における主な業績（代表的なもの５点位）（注１参照） |  |
| 過去に受けた主な賞 |  |

４．研究業績の題名及び推薦理由

|  |  |
| --- | --- |
| 研究業績の題名  |  |
| 推薦理由：農業の発展等のため優れた業績である理由を特に御記入願います（注２参照）） |
|  |

（注１）「過去における主な業績の記載方法」について

１．論文･報告の場合

著者名、論文のタイトル及び所収されている学会誌等の名称、巻、号、頁数、発行年、発行機関（発行年は著者名の次でも可。ただし、発行年にかっこを付すること）等とします。次の点に留意し、記載して下さい。

①　複数の著者のものは、学会誌等に掲載されたときの順に厳格に従って表記すること。なお、複数の著者の間について学会誌等でequal contributionとされている場合（複数の筆頭著者による論文である場合）は、その旨記載すること。また、「et al.」、「他」を使って他の著者を省くことは避けること。

　②　掲載されている学会誌等の名称の正式名をフルネームで表記すること。

　③　学会誌等の発行機関の名称の正式名をフルネームで表記すること。

２．著書の場合

著者名（編著者・編者）、タイトル及び出版社（発行機関）、発行年（著者名の次でも可。ただし、発行年にかっこを付すること）等とします。次の点を確認の上、論文･報告の場合と同様に記載して下さい。

①　著者名は､単著者、共著者、編著者、編者のように、発刊時に表紙等に、当該著書が誰によって書かれ、あるいは編集されたものか、あるいは分担執筆者、その別がわかるように表記されているのが通例です。受賞候補者が著書の執筆者としていずれに該当するか発刊時の表記方法に厳格に従って表記して下さい。また、著者、編著者等が複数以上ある場合については「他」、「et al.」を使って省略せず発刊時の表記に従い、全員を表記して下さい。

②　受賞候補者が当該論文の章などの一部のみの執筆を分担し、著書の編著者、編者に表記されていないもの（分担執筆者）については、執筆者（この場合は受賞候補者）、章のタイトル、著書名、当該著者が執筆した章、発行年、出版社（発行機関）とします。著書名の前に編著者、編者名を付して下さい。

③　設計基準書のような技術書（マニュアル等）や官公署の報告書のようなものについては、発行機関、タイトル、発行年を表記し、候補者がどの部分を執筆担当したかがわかるように付記して下さい。

（注２）「推薦理由の記載方法」について

１．800～1000字程度で御記入下さい。

２．推薦理由については、研究業績として優れているばかりでなく、わが国農業の発展等に貢献するものであることを、出来るだけ具体的にお書き下さい。例えば、自然科学系の場合には、当該業績が普及指導センター等を通じ、ある地域、部門の農業分野に実際に利活用されたこと、あるいは、食品加工・製造・流通等に取り入れられたこと等。また、社会科学系の場合には、当該業績が広く農家や一般国民に紹介されるとともに、日本農業に対する理解を深めることに貢献したこと等を具体的に記載して下さい。